



もいおかYMCA ニュース

発行日 2000 6. 12



サタディスクール おもしろ実験、石鹸作り!

6月10日(土)YMCAの新しいプログラム「サタディスクール」の第2回目の活動が行われました。先月は、クッキー作りでしたが、今月のテーマは「サイエンス」石鹸を使った実験に挑戦です。

当日は晴天の中、9名の子どもたちがYMCAに集合、伊東恵合子リーダー、星合 暁洋リーダーの説明にしたがって、ハンドソープと食塩を使った石鹸作りと、洗濯

のりと洗剤を使った巨大シャボン玉作りに挑戦しました。ぬけるような青空に子どもたちの作ったシャボン玉は悠々とあがっていききました。



こんなに大きなシャボン玉ができました。

OJのワンポイント バイブル講座

すべてのことについて感謝しなさい。
(第1テサロニケ5章18節)

第16号で、不平、不満のことを少し書きました。ある人がこう言うことを言いました。「人間って勝手なものですね。この不平、不満がなくなればよほど生活が明るくなるでしょうね。」今週は、感謝のことを少し学んで見ましょう。感謝する心はいつも、最終的には、困難から助け出してくれます。人に責められたり、誤解されたり、その他、さまざまな困難なときでも感謝する魂は、最後にはその人を救ってくれます。

つぎに感謝する心は、神様の喜びの中に生きることができます。ある晩、母親が子供にお祈りをさせて休ませようとした。「お母さん、僕はなにも神様に頼むことがないや」「神様に頼みすることがなかったらじゃあ神様からいただいたものを数えて、感謝してごらんなさい。」お母さんはやさしく問いかけました。その子は素直に神様に感謝し始めました。彼は自分の持っているおもちゃ、新しい帽子、丈夫な手足、両親、ひとつひとつ思い出すままに、こどもらしく神様に礼を言い始めたのです。いくら思い出しても感謝することが次ぎからつぎへと出てきてきりがありません。しまいにその子が立ち上がりて両親に言いました。「お母さん、神様ってすばらしい方だね。」感謝はあなたをすばらしい神のふところの中に届けるのです。愛、喜び、平和、希望が待っているのです。

第3に感謝する魂は、仕事をやり遂げます。不平、不満に満ちている人はあちらこちらでけんか別れをしたり、自分などだめだと引つ込み思案になって、ひとつとしてこれはといった仕事を完成することができず、いつも回りのものに引き回されてしまうのです。実に感謝、喜びこそ人生の働きの言動力です。人生の目的とは何か、ハイデルベルグの本の中に「神を喜ばせ、神を喜ぶことである」とあります。人生の目的が自分中心の生活で、自分のことばかり考え、自分勝手なことばかりしているならば、不平と、不満に満ちた不幸な生活をおくらなければならないのです。

ある中国の宣教師が、すっかり失望し、もう神も恵みもわからなくなったような悲惨な気持ちになってある伝導所に、入った時、そこに一枚の額がかかっていた。「ために感謝してごらんなさい。」と書いてあるのです。「ために感謝してごらんなさい。」そこで彼はひざまづいて祈り、感謝しました。するとどうでしょうか。今までの黒雲はすっかりとりのぞかれて、神様の輝く恵みと愛の御顔をみることできたのです。

(盛岡キリストの教会牧師 小田島勝也)

盛岡出身、アメリカで30年間牧師として、ファミリーカウンセラーとして活躍。テキサスYMCAでは少年野球チームのコーチもされました。盛岡YMCAではシルバー英会話教室の講師をしていただいています。

各地のYMCA② (熊本)

Jリーガー誕生!!

世界120カ国、さまざまな地域で活動しているYMCAを紹介するコーナーです。今回は九州、熊本YMCAからのニュースです。

YMCAで11歳から12歳までサッカークラブに所属していた当時から、将来はプロ選手になろうというのが僕の夢でした。

毎日小学校の運動場でみんなが帰った後も一人で練習していました。今思えば、小さいころはドリブル練習を行い、全員が抜けるおうような練習をしておくことが一番大切だと



アビスパ福岡
小森田 友明

思います。YMCAでのサッカーは楽しかったというのが僕の印象です。リーダーの練習内容が、とにかく楽しくて、プロになれたのも、自分がサッカーが好きだというのが一番でした。そして、僕にとって、サッカーの魅力はボールを持っている人が注目されるという点です。今はアビスパ福岡でプロとして、午前2時間、午後2時間ハードな練習をしています。現在の夢は、試合に貢献できる選手になりたい気持ちでいっぱいです。